

「ありがとう」

一宮市立浅井北小学校三年

福田 凧紗



わたしは、八月八日にデイサービスセンターに福祉体けんに行きました。かいごのおしごとは、どんなおしごとかきょう味があつたからです。

行ったときは、とてもきんちようしていました。さいしょに、お茶配りをたのまれました。おばあさんやおじいさんにお茶とおかしを配りました。みんなやさしい笑顔で、「ありがとう。」と言ってくれたのできんちようがほぐれました。

次に、おじいさんとオセロをしました。せがなくて、あまりしゃべらないおじいさんでした。わたしは、少しこわかったです。でも、ゲームをしていて、おじいさんが「ワッハッハ。」と大声で笑いました。わたしは、おじいさんがこんなに笑うなんてびっくりしました。はじめはこわかったけど、おじいさんが楽しんでくれていたんだと思いました。わたしも思わず笑ってしまいました。

次にお昼ごはんのお手伝いをしました。はしとごはんを配りました。おばあさんたちから、「ありがとう。」と言われて、とても心が温かくなりました。

次におやつの時間になりました。カステラとアイスのおやつでした。食べおわり、みんな「おいしかった。」と言っていました。お茶のコツ

プをあらってふきました。すると、おばあさんが「えらいね。」と言ってくれました。みんなとてもよろこんでくれました。

そして、帰る時間になりました。みんなに、

「ありがとうございました。」

と言いながらみんなの手をにぎりました。みんなは、

「おつかれさま。がんばったね。」

と言ってくれました。わたしは、てれちゃいました。

わたしは、福祉体けんをしてたくさんの人から「ありがとう。」と言われて、わたしはうれしい気もちやさしい気もちになりました。そして、もつとやってあげたいと思って、とても気もちがよくなりました。 「ありがとう。」という言葉は、まるでまほうの言葉のようだなと思いました。わたしもなにかをしてもらったりやさしい言葉をかけてもらったりしたら「ありがとう。」という言葉をわすれずに言いたいです。

